

方程式 2・1 次方程式の利用

1 解き方の基本 (その5)

(1 / 4) ■ 過不足の問題 (等置法) ① ■

過不足の問題① 全体の量を表す等式

— ●★解法の技術★の学習のしかた● —

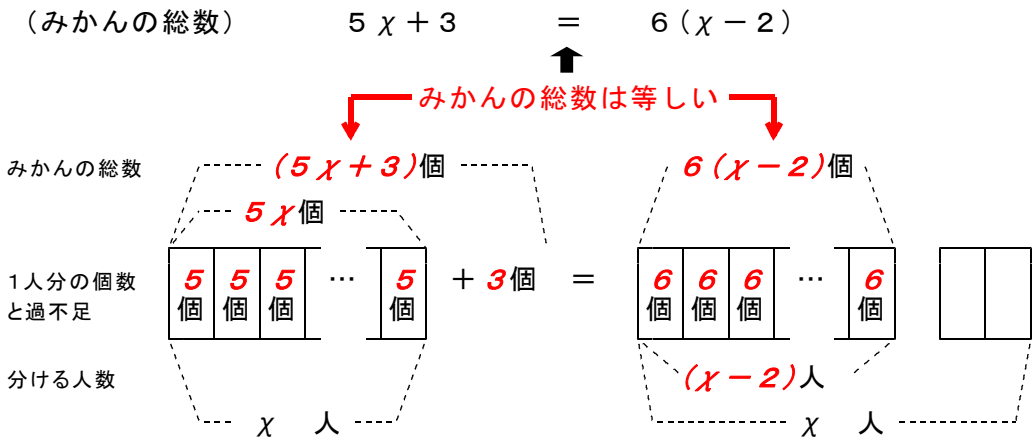
- (1) 下の答案を理解し, 「考え方」を覚えましょう。／覚えたら, ……
- (2) 模範解答を見ないで, 「理解のチェック」の問題を解いてみましょう。
(答案を見ながら書くとは勉強になりません。一度, 「考え方」を頭の中に入れることが大切です。)

◇ 《全体の量を表す等式を作る》 **学力化** →

★解法の技術★

1箱に入っているみかんとを何人かに分けるのに, 1人に5個ずつ分けると3個余り, 6個ずつ分けるとちょうど2人には分けることができませんでした。
人数を x 人として方程式を立てて答えなさい。

【考え方】みかんとを分ける人数を x 人として, 数量関係を図に表すと,



[考える手順]

- 1** 未知数を決める
- 2** 方程式を立てる

[答 案]

みかんとを分ける人数を x 人とする。
みかんの総数の関係を求める式を作ると,
 $5x + 3 = 6(x - 2)$

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【方程式 No. 1 9 (1/4)】 - 〈2枚目/2枚〉

➔ (前のページからのつづき)

3 方程式を解く

これを解いて,

$$5x + 3 = 6x - 12$$

$$5x - 6x = -12 - 3$$

$$-x = -15$$

$$x = 15$$

4 たしかめ

人数を15人とすると、みかんの総数は、

$$\text{場合1} \quad 5 \times 15 + 3 = 78 \text{ (個)}$$

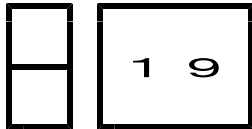
$$\text{場合2} \quad 6 \times 15 - 6 \times 2 = 78 \text{ (個)}$$

となり等しい。

よって、これは問題に合っている。

5 答を書く

答 人数 15人



方程式 2・1次方程式の利用

1 解き方の基本 (その5)

(2 / 4) ■ 過不足の問題 (等置法) ① ■

◇ 《全体の量を表す等式を作る》 **学力化** → /

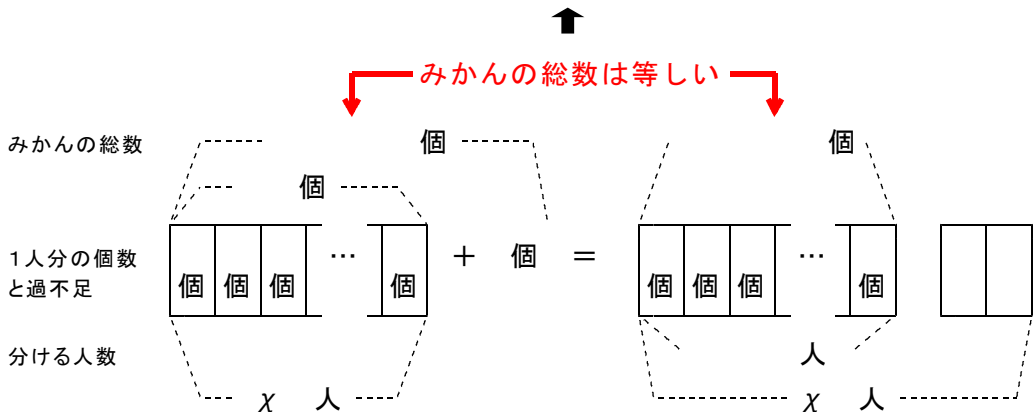
★理解のチェック★

1箱に入っているみかんとを何人かに分けるのに、1人に5個ずつ分けると3個余り、6個ずつ分けるとちょうど2人には分けることができませんでした。

人数を x 人として方程式を立てて答えなさい。

【考え方】みかんとを分ける人数を x 人として、数量関係を図に表すと、

(みかんの総数)



[考える手順]

1 未知数を決める

2 方程式を立てる

3 方程式を解く

[答 案]

みかんの総数の関係を求める式を作ると、

これを解いて、

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【方程式 No. 1 9 (2/4)】 - 〈2枚目/2枚〉

➔ (前のページからのつづき)

4 たしかめ

人数を人 とすると、みかんの総数は、

場合1

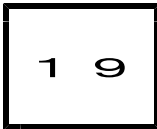
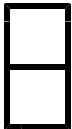
場合2

となり等しい。

よって、これは問題に合っている。

5 答を書く

答 _____



方程式 2・1次方程式の利用

1 解き方の基本 (その5)

(3/4) ■ 過不足の問題 (等置法) ① ■

◇ 《全体の量を表す等式を作る》 **学力化** → /

★演習★【1】

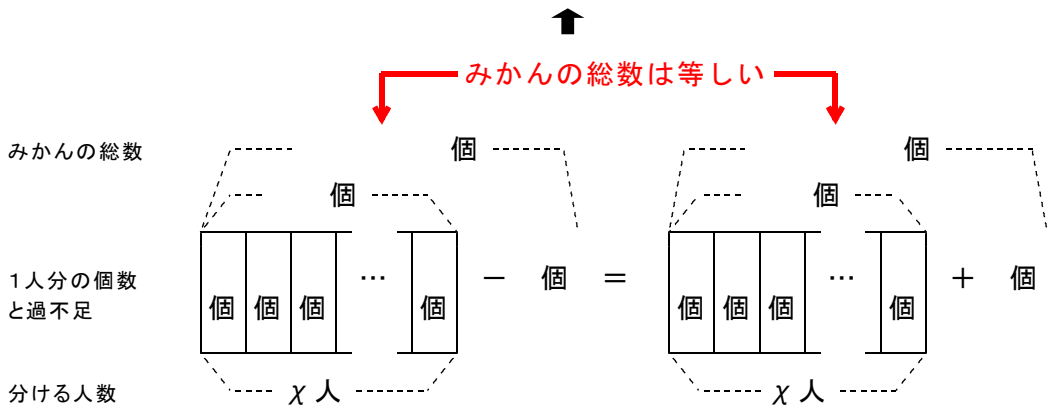
子どもが何人か集まっているので、みかんとを4個ずつ配ろうと思ったが5個足りないので、3個ずつ配ったら7個余りました。

みかんの個数と子どもの人数を求めなさい。

子どもの人数を x 人として方程式を立てて答えなさい。

【考え方】子どもの人数を x 人として、数量関係を図に表すと、

(みかんの総数)



[考える手順]

1 未知数を決める

2 方程式を立てる

3 方程式を解く

[答 案]

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【方程式 No. 19 (3/4)】 - 〈2枚目/2枚〉

➔ (前のページからのつづき)

4 たしかめ

子どもの人数を人とする、みかんの総数は、

場合1

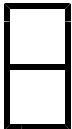
場合2

となり等しい。

よって、これは問題に合っている。

5 答を書く

答 _____



方程式 2・1次方程式の利用

1 解き方の基本 (その5)

(4 / 4) ■ 過不足の問題 (等置法) ① ■

◇ 《全体の量を表す等式を作る》 **学力化** → /

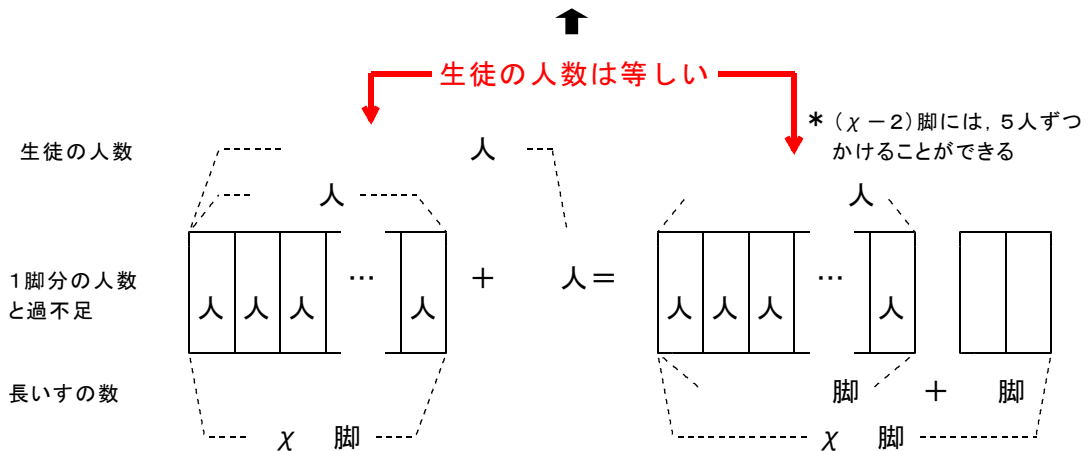
★演習★【2】

生徒の集会で、長いす1脚に4人ずつかけさせると35人がかけることができませんでした。そこで、5人ずつかけさせると長いすが2脚余りました。この集会に集まった生徒の人数といすの数を求めなさい。

いすの数を x 脚として方程式を立てて答えなさい。

【考え方】 いすの数を x 脚として、数量関係を図に表すと、

(生徒の人数)



[考える手順]

- 1 未知数を決める
- 2 方程式を立てる
- 3 方程式を解く

[答 案]

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【方程式 No. 19 (4/4)】 - 〈2枚目/2枚〉

➔ (前のページからのつづき)

4 たしかめ

長いすの数を 脚とすると、生徒の人数は、

場合1

場合2

となり等しい。

よって、これは問題に合っている。

5 答を書く

答 _____